

? WAN高速化製品とは？

拠点間(本社・支社間など)の回線におけるデータのやりとりの最適化を実現するための装置です。



コスト問題  
¥

【定常費用削減を上司から求められているシステム担当者の方へのご提案】

❌ 専用回線は費用が高い！  
回線を増強するにも費用がかかりすぎる。



🌟 脱専用回線！経費削減効果大！  
共有回線でも十分な環境を構築できます。



通信の  
安定化問題  
🌐

【中国支店/工場から添付ファイル付メールの受信が出来ないとクレームを毎日言われている情報システム担当者の方へのご提案】

❌ 時間帯により全く通信ができなくなる！  
全く仕事にならない。



🌟 通信安定化！  
独自の通信安定化技術により通信を維持することが可能です。



バックアップ  
回線  
📦

【今まで一度も使わないバックアップ回線なんて本当に必要だろうかと疑問をお持ちの経営者の方へのご提案】

❌ バックアップ回線の維持費用に疑問？  
普段利用していないバックアップ回線の有効活用はできないのか？



🌟 バックアップ回線の有効活用！  
複数の回線を仮想的に1本の回線として利用可能。  
利用されていなかったバックアップ回線も含めて、有効活用可能です。この場合、1本の回線が物理的に遮断されても、通信継続が可能になります。



【RAPICOMは他社製品とは違います！】

[他社製品の高速化手法]

■ハードディスクを搭載し通信データを記録します。  
同一データの要求が発生した場合に効果があります。  
※同一データが要求されない場合は効果が期待できません。

■圧縮により通信データ量を減らします。  
※すでに圧縮されているデータには効果がありません。

[RAPICOMの高速化手法]

■独自の通信技術により回線を最大限に有効活用します。

【従来】



【RAPICOM】



※同一データが要求されないケースにおいても効果が期待できます。

■もちろん圧縮・暗合機能も搭載しています。



RAPICOMは  
HDD非搭載。



省エネ&低コスト

故障率の低下

注意！RAPICOMによる改善効果はお客様の環境および対象となるアプリケーションなどにより異なります。